

会 議 録

						記録者		前田壮之						
供覧	教育長		部長		次長		課長		課長補佐		主査・係長		グループ員	
件 名		令和6年度第1回龍ヶ崎市学校給食センター運営委員会												
日 時		令和7年2月6日（木） 午前10時00分～午前10時40分												
場 所		龍ヶ崎市役所 第2委員会室												
出席者		委員： 油原委員、山村委員、糸川委員、神吉委員、平野委員、五十嵐委員、岡田委員、目迫委員、石井委員 事務局： 大古教育長、中村教育部長、大堀次長、岩井所長、前田課長補佐、飯塚主幹 欠席： 石田委員、唯根委員、渡辺委員、町田委員、谷澤委員												
傍聴人		1名												
内 容		議事 (1) 学校給食費の無償化について（諮問）												
発言者		発言の内容												
事務局		開会 傍聴人の確認												
教育長		(挨拶)												
事務局		委員紹介 事務局紹介 出欠及び会議成立の確認（委員14名中9名出席）												
事務局		委員長・副委員長の選任について、規則規定により委員の互選となっていますが、ご意見ございますか。 (意見ないため事務局提案) 慣例ですと、委員長には市議会議長、副委員長には市議会文教福祉委員長にお願いいたしておりました。いかがでしょうか。 (異議なしの声) それでは、委員長は油原委員、副委員長は山村委員にお願いします。 油原委員長よりご挨拶をお願いします。												
油原委員長		(挨拶)												
事務局		諮問書を提出させていただきます。												

教育長	(諮問書提出)
事務局	規則規定により議事進行を委員長にお願いします。
油原委員長	円滑な議事進行にご協力をお願いします。 本委員会は、会議録を作成し公開します。その際、会議録には発言者の名前を記載して公開します。 まず、本日の会議録の署名人ですが、私より糸川委員と五十嵐委員を指名させていただきます。 また、会議録作成のため事務局で会議の内容を録音させていただきます。 只今より、議事に入ります。 教育委員会からの諮問事項であります「学校給食費の無償化について（諮問）」、事務局より説明願います。
事務局	(説 明)
油原委員長	令和7年度から中学3年生を対象に学校給食費を無償化としたいということで、この件について、ご意見、ご質問を頂きたいと思いますが、その前に請願について市議会で全会一致で採択という説明がありましたが、運営委員会委員長としてではなく、市議会議長として若干内容を補足させていただきます。 学校給食費無償化については全国的な流れであり、この流れは尊重していく必要がありますが、恒久的な財源を確保したうえで給食費無償化を実現するよう付帯決議がされています。市議会で全会一致というのはそういう内容も入っているところです。また、国に対して、国の責任で実施してほしいとの意見書も出させていいただいています。
目迫委員	令和7年度の財源は大丈夫なのですか。
事務局	令和7年度の中学3年生無償化の財源については、国の重点支援地方交付金を活用してまかなう予定です。また、食材費の物価高騰分の一部にもその重点支援地方交付金を使う予定です。
目迫委員	給食費無償化は保護者としては本当にありがたい。 ただ、財源の問題もあるだろうが、中学3年生の無償化よりも全員半額とか減額でも保護者としてはありがたいと思う。無償化に係る予算の全額が確保できないのであれば、こういった考えもできないか。
事務局	令和7年度に重点支援地方交付金という財源が確保できたので、それをどのように有効活用していくか、ひとつの案としてお話のあった半額や減額といった内容も検討しましたが、その後の継続性なども考えると先ほど説明の中でお話ししました、義務教育課程の中で一番費用的にかかると思われる中学3年生を対象とすることが、効果的ではないかという結論に至りました。
油原委員長	まずは財源の確保ということですね。昨年度、国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で給食費の無償化を半年行いましたが、恒久的な財源を確保しないと継続的な無償化ができず、一時的なものでした。 給食費全体で約3億円を超え、半額としても1億5千万円確保できるかということ。今回3千万円を確保できる見通しが立ったことから、中学3年生を無償にするという市の提案である。これが恒久的に1億5千万円確保できるということであれば、全員半額ということも考えられる。なので、市はこれから市民サービスに影響のない範囲で、なくすものではなく、見直しをしていく、そういう努力をしていかなければならないんだと思います。 私（議長）のところに給食費無償化の請願が提出されたときに、第3子無償化が令和

	7年度予算で1, 100万円、ほかに物価高騰分を保護者負担しないように市で負担している分もあり、そのような形では一部無償化も進んでいます、とお話ししました。 3月の議会には新年度予算案として出てきますので、今あったようになぜ半額ではないのかなど、いろいろ議論があると思います。
山村委員	中学3年生の無償化分で約3千万円、物価高騰分で約6, 500万円ということでしたが、物価高騰分のうち中学3年生分はどのくらいですか。
事務局	約730万円です。
山村委員	これを合わせ中学3年生の無償化分で3, 730万円を毎年確保できる見込みであるということですね。恒久的でなければ意味が無いのでそこを懸念しています。
事務局	中学3年生の無償化を恒久的にやっていこう、と金額も提示した上で企画・財政部局とも調整しているので、確保できるものと認識しています。
山村委員	中学3年生の無償化からは話がずれますが、第3子以降の給食費免除を受けていて、1人が義務教育を終えた場合、2人になるので、給食費の免除はなくなるということですね。
事務局	仰るとおり免除の対象外となります。
山村委員	現在、義務教育しか対象となっていないが、子育て世帯の経済的負担を考えると、その免除基準も考える必要があるのではないかと。
事務局	その点については、前回の市議会定例会において桜井議員から提案があった内容ですので、今回、第3子免除の拡充についても検討しましたが、多子世帯支援については現行どおりとし、かつ、新たに中学3年生を無償とすることがより効果的ではないかと、の結論に至ったところです。
山村委員	中学3年生の無償化はよいけれど、多子世帯支援がこれまでと変わらない、という点について考えてほしい。
油原委員長	先ほど、全員に負担軽減があってもよいではないか、という貴重な意見もいただきました。今後、それらを踏まえていろいろ検討してください。
石井委員	参考までに利根町の状況をお伝えします。 利根町は令和3年度に5か月、令和4年度は9か月無償化し、令和5年度、6年度は1年間無償化し、令和7年度も1年間無償の予定とのこと。 また、給食費は令和7年度から小中ともに530円増額し、小学生4, 560円、中学生と教職員が5, 130円になるそうです。 龍ヶ崎市とは条件が違いますが、参考までにお伝えしました。
油原委員長	県内でも給食費無償化を実施している市町村はあり、そういう流れではありますが、どこに予算を使っていくか、だと思います。 当市は現在、長山小中一貫校、新保健福祉施設など大きい事業が集中しているので、これが整理できれば検討の余地もでてくるだろうと思います。
山村委員	参考までに無償化に必要な予算は小学校、中学校別にどのくらいですか。
事務局	物価高騰分を見込まないで、小学校が約1億4, 500万円、中学校が約9, 500万円、合わせて約2億4千万円です。物価高騰分を含めると約3億円必要になります。
油原委員長	毎年約3億円確保できないと小中学校無償化はできないということです。 それでは、お諮りします。 今回諮問されております、中学3年生を対象に令和7年度から学校給食費を無償化とする、ということに異議はございませんでしょうか。 (異議なしの声)

		それでは、令和7年度からの中学3年生を対象とした学校給食費の無償化については「異議なし」で答申させていただきます。 以上をもちまして終了いたします。円滑な議事進行にご協力いただき、ありがとうございました。 【閉 会】	
		会議録署名人 <u>五十嵐 淳</u> 会議録署名人 <u>糸川 宏</u>	
情報公開	☒ 公 開	非公開（一部非公開を含む）とする理由	(龍ヶ崎市情報公開条例 第9条 号該当)
	☐ 部分公開 ☐ 非公開	公開が可能となる時期（可能な範囲で記入）	年 月 日